

日本を中心とした第二次世界大戦関係の貴重な歴史研究資料。

外務省條約局 編纂

日本国ト大東亞諸国トノ條約

第二次世界戦争関係條約集

クレス出版

刊行にあたって

早稲田大学名誉教授

大畑 篤四郎

●日本国ト大東亜諸国トノ條約

外務省條約局は戦前から重要な條約集を編集し、発刊してきた。このたび刊行されるのは昭和十八年（一九四三年）に『大東亜條約集』第一巻として発表された『日本国ト大東亜諸国トノ條約』である。昭和十八年といえは当時行われていた「大東亜戦争」が日本にとって、まさに最盛期であった時代といつてよいであろう。本書の冒頭には「大東亜共同宣言」があげられているが、中国語・フランス語訳文も掲げられている珍しい文書である。

本書では以下、日本と中華民国（但し日清講和條約など「清国」、あるいは辛亥革命後の中国政府との條約の一部を含む）、タイ国、満州国、フィリピン、ビルマ（現在のミャンマー）、インドシナの諸国・地域との條約を収録している。但し、フィリピン、ビルマは昭和十八年に日本が独立させるとともに、日本との間に同盟條約を締結しているため、それらが収録されている。そのため戦後には一連の新しい展開をとげているので、それらを理解しなければ現在の問題にはつながらない。またインドシナは当時の「仏領印度支那」の地域であり、日本はフランスとの間に関連する條約・協定等を締結している。

本書の冒頭に「大東亜共同宣言」が掲げられているのと対照されるように、卷末にはこの年に発表された「自由インド仮政府承認に関する帝国政府声明」が掲げられている。ボース政権にかかわる文書である。

このように本條約集には、すぐる第二次世界大戦中の日本とアジア諸国との関連を示す、條約を中心とするさまざまな貴重な文書が収録されている。歴史の一齣をえがきだす貴重な史料集といえよう。

●第二次世界戦争関係條約集

外務省條約局は昭和十八年（一九四三年）に『第二次世界戦争関係條約集』を編纂し、発行した。日本の立場でいえば当時は「大東亜戦争」が日本に最も有利に進展していた時期でもあり、本條約集も「大東亜地域」における日本と枢軸諸国（ドイツ、イタリア等）との間に締結された條約を中心としているが、連合国相互間の條約も収録されている。

本條約集は第一編として、日本と「大東亜共栄圈内諸国」との條約（満州国、中華民国、仏領印度支那、タイ、ビルマ、フィリピン関係條約、その他）、第二編として日本と枢軸諸国との間の條約（その第一は政治関係、第二は経済関係、第三は防共関係、第四は文化関係）を収録している。このうち政治関係の條約は日独伊三国同盟関係を中心としているが、独伊友好同盟や独伊とフランスとの休戦條約もあげられている。枢軸国を中心とした経済関係の條約も現在では見られないものが多い。また本書第三編は、ソ連と日本および米英諸国との條約関係であり、その第一は日ソ関係、第二はソ連と米英その他諸国との間の條約関係をあげている。そのうち日ソ関係は日ソ中立條約を中心とするが、ソ連と米英との関係では、独ソ開戦後の協力関係にかかわる文書が収録されている。そして第四編は「戦争遂行ニ関スル米英両国ヲ中心トスル條約関係」であり、第一米英両国関係、第三は汎米條約関係、第四は重慶政権関係の條約である。本書刊行の時期からしてカイロ宣言以下の文書は含まれていないが、やむを得ないところである。

この條約集には現在の市販の條約集にはみられない歴史的な文書が多く収録されており、日本を中心とした第二次世界大戦関係の歴史研究には欠かせない貴重な史料集といつてよいであろう。

(五) 滿洲國ニ於ケル治外法權ノ撤廢及南滿洲鐵道附屬地

行政權ノ移讓ニ關スル日本國滿洲國間條約

昭和十二年（康徳四年）十一月五日新 京ニ於テ署名
同 年（同 年）十一月八日（十一月九日附官報）公布
同 年（同 年）十二月一日ヨリ實施

大日本帝國政府ハ昭和十一年六月十日即チ康徳三年六月十日調印ノ滿洲國ニ於ケル日本國臣民ノ居住及滿洲國ノ課税等ニ關スル日本國滿洲國間條約前文ノ趣旨ニ據リ且該條約實施ノ成績並ニ滿洲國ノ法令及諸制度ノ整備ノ狀況ニ鑑ミ日本國ガ現ニ滿洲國ニ於テ有スル治外法權ヲ完全ニ撤廢シ且南滿洲鐵道附屬地行政權ヲ全般的ニ移讓スルコトニ決シタルニ因リ

滿洲帝國政府ハ右日本國政府ノ決定ニ對應シテ其ノ建國ノ本旨ニ從ヒ滿洲國ニ於ケル日本國臣民ノ安住發展ヲ一層確保増進スル爲必要ナル一切ノ保障ヲ與ヘ得ルコトト爲リタルニ因リ兩國政府ハ日本國ガ現ニ滿洲國ニ於テ有スル治外法權ノ撤廢及南滿洲鐵道附屬地行政權ノ移讓ニ關シ兩國間ノ關係ヲ規律センガ爲左ノ通協定セリ

第一條

日本國政府ハ現ニ日本國ガ滿洲國ニ於テ有スル治外法權ヲ本條約附屬協定ノ定ムル所ニ從ヒ撤廢スベシ

●日本国ト大東亜諸国トノ條約
A5判／上製函入クロス装／本文クリーム中性紙使用
定価二〇、〇〇〇円（税別）、一九九九年十月刊
ISBN4-87733-078-X C3331

媾和條約

明治二十八年（一九九五）四月一七日下關ニ於テ調印
明治二十八年（一九九五）四月二〇日批准
明治二十八年（一九九五）五月八日芝罘ニ於テ批准書交換
明治二十八年（一九九五）五月一三日公布

大日本帝國皇帝陛下及大清國皇帝陛下ハ兩國及其ノ臣民ニ平和ノ幸福ヲ回復シ且將來紛議ノ端ヲ除クコトヲ欲シ媾和條約ヲ訂結スル爲メニ大日本帝國皇帝陛下ハ内閣總理大臣從二位勳一等伯爵伊藤博文外務大臣從二位勳一等子爵陸奥宗光ヲ大清國皇帝陛下ハ太子太傅文華殿大學士北洋大臣直隸總督一等肅毅伯李鴻章ニ品頂戴前出使大臣李經方ヲ各其ノ全權大臣ニ任命セリ因テ各全權大臣ハ互ニ其ノ委任狀ヲ示シ其ノ良好妥當ナルヲ認メ以テ左ノ諸條款ヲ協議決定セリ

第一款

清國ハ朝鮮國ノ完全無缺ナル獨立自主ノ國タルコトヲ確認ス因テ右獨立自主ヲ損害スヘキ朝鮮國ヨリ清國ニ

大日本帝國大皇帝陛下、及大清帝國大皇帝陛下。爲訂定和約、俾兩國及其臣民、重修平和、共享幸福、且杜絕將來紛紜之端。大日本帝國大皇帝陛下。特簡大日本帝國全權辦理大臣、內閣總理大臣從二位勳一等伯爵伊藤博文。大日本帝國全權辦理大臣、外務大臣從二位勳一等子爵陸奥宗光。大清帝國大皇帝陛下。特簡大清帝國欽差頭等全權大臣、太子太傅、文華殿大學士、北洋通商大臣直隸總督一等肅毅伯李鴻章。大清帝國欽差全權大臣、二品頂戴、前出使大臣李經方。爲全權大臣。彼此較閱所奉諭旨。認明均屬妥善無闕。會同議定各條款、開列於左。

第一款

中國認明朝鮮國確爲完全無缺之獨立自主。故凡有虧損獨立自主體制。即如該國向中國所修貢獻典禮等。嗣後

●第二次世界戦争関係條約集

A5判／上製函入クロス装／本文クリーム中性紙使用
定価三二、〇〇〇円（税別）、一九九九年十月刊
ISBN4-87733-079-8 C3331

明治期外務省調書集成

全49巻 明治期外交資料研究会編
外交交渉当事者、外交事務担当者によって、自身の経験あるいは事務処理の過程の上で作成された報告書集。
日清講和関係調書集 全13巻

4-906330-93-2、94-0 揃定価一九三、〇〇〇円

日露講和関係調書集 全9巻
4-906330-99-1 揃定価一四五、〇〇〇円

外務省制度・組織・人事関係調書集 全9巻
4-87733-012-7 揃定価一三五、〇〇〇円

条約改正関係調書集 全18巻
4-87733-016-X、017-8 揃定価二八四、〇〇〇円

外務省執務報告

全12巻 臼井勝美・濱口學・原口邦紘解説
外務省が各局・部を中核にして課単位で執務の内容を、網羅的かつ具体的に記載し、年次毎に纏め印刷に付した。太平洋戦争に至る日本外交の全貌を明らかにする外務官僚執務の「機密報告書」。

東亜局 全6巻 4-906330-84-3 揃定価一三五、〇〇〇円

欧亜局 全3巻 4-906330-85-1 揃定価七〇、〇〇〇円

暹米利加局 全3巻 4-906330-86-X 揃定価五五、〇〇〇円

第二期全9巻 本宮一男・臼井勝美解説
通商局 全4巻 4-87733-003-8 揃定価一〇六、〇〇〇円

外事彙報

全10巻 外務省政務局編 吉村道男解説
第一次大戦時の世界状況を有機的・総合的に捉え、「一般の参考として、より広い範囲に国際情報を提供するため刊行された貴重資料」。

外務省公表集

全12巻 佐藤元英監修・解題
外務省から文書によって発表された主として声明、談話、通告、説明、交換公文などの外交関係記事を蒐集し、編集公刊されたもの。

外務省年鑑

全13巻 大正2年～大正15年 外務大臣官房人事課編
大正期の日本外務省の実態（制度・組織・人事の現状）、並びに日本の対外関係を研究する上の基礎史料。

ISBN4-87733-070-4、071-2 揃定価二二五、〇〇〇円

日本・中国関係 イギリス外務省文書目録

全3巻 佐藤元英編著
イギリス国立公文書館のチェック・リストから日本・中国関係の外務省文書目録を編集。
4-87733-031-3 揃定価五〇、〇〇〇円

日本外交史料集

全3巻 外務省調査部編纂
徳川幕府の時代より華府会議に至る膨大な外交文書を基礎に編纂。
日英外交史 全2巻 4-906330-68-1 揃定価三五、〇〇〇円
日米外交史 全1巻 4-906330-69-X 定価一〇、〇〇〇円

世界大戦関係日本外交文書

全1巻 外務省調査部第一課編
第一次大戦初期から終期にわたる外務省記録を厳選し、世界的認識の下に日本の関与した過程を跡づける昭和十四年刊行の貴重資料。
4-87733-043-7 定価三〇、〇〇〇円

日支間並支那二関スル 日本及他国間ノ条約

全1巻 外務省条約局編 明治二十八年日清戦争の休戦条約より大正十一年の日中郵便約定までの条約、協定、公文、覚書等を輯録し、日中関係研究必須の書。
4-87733-044-5 定価三〇、〇〇〇円

外務省沿革類従

全1巻 小林和幸解説
慶応四年正月太政官に外国事務掛が置かれた時より、明治二年七月の外務省設置を経て、明治九年に至るまでの外務省沿革を輯録。
4-87733-030-X 定価二五、〇〇〇円

日中外交年表草稿 一九〇五—一九四五

全1巻 臼井勝美編著
一九五五年に刊行した『日中外交年表並主要文書』の年表部分を修正補訂した私家版。平成十年度『吉田茂賞』受賞書籍。
4-87733-060-7 定価三、〇〇〇円

日本委任統治地域行政年報

全5巻 外務省編 等松春夫解説
一九二〇年から三八年まで日本政府が毎年国際連盟に提出した日本の統治下の南洋群島の行政報告。植民地支配の国際比較研究に役立つ。
4-87733-061-5 揃定価一〇〇、〇〇〇円